

紹介する人物

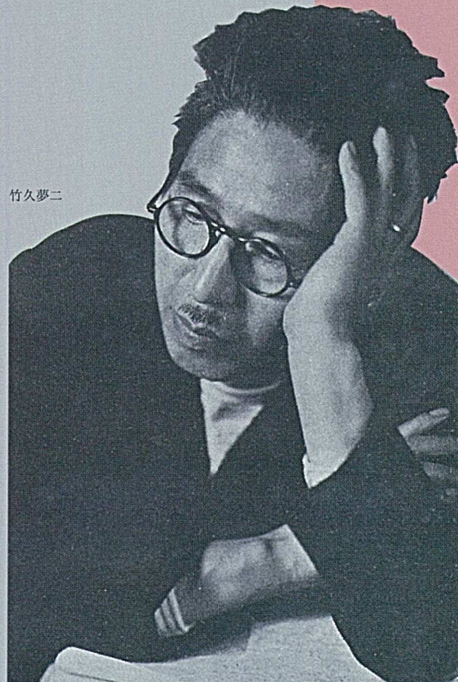
岸他万喜
笠井彦乃
佐々木カ子ヨ
恩地孝四郎
有島生馬
吉井勇
柳原白蓮
吉屋信子
松井須磨子
中山晋平
サトウハチローなど



上：他万喜と息子達（虹之助・不二彦）と夢二
下左：『ねむの木』大正5年
下右：姉と弟 大正2年

夢二をめぐる人々

— 家族・友人・恋人：—
大正浪漫交遊録



竹久夢二

画家・詩人として活躍した竹久夢二（1884〜1934）。抒情的な作品のみならず、美しい女性たちとの数多の恋や、旅を重ねた漂泊の人生そのものが「大正ロマン」を象徴する存在です。
一世を風靡した（夢二式美人画）は、妻・他万喜をモデルに誕生したように、夢二の創作の源となったのは、彼が生涯で出会った人々でした。
さらに、夢二と繋がりがあった人物を辿れば、時代を代表する画家や詩人・作家、また世間を賑わせた恋愛事件も登場します。
本展では、夢二に関わる人々ゆかりの作品や資料を展示するとともに、大正期を中心に夢二の交友関係や時代のエピソードをご紹介します。

2016年

1月3日（日）▶ 3月27日（日）

休館日 月曜日（祝日の場合は翌火曜）
開館時間 午前10時〜午後5時 入館は午後4時30分まで
入館料 一般 900円 / 大・高生 800円 / 中・小生 400円
※弥生美術館も併せてご覧頂けます。

竹久夢二美術館

〒113-0032 東京都文京区弥生2-4-2

Tel 03(5689)0462

<http://www.yayoi-yumeji-museum.jp>

担当学芸員による
ギャラリートーク

1/10(日) 2/14(日)

3/13(日)

午後3時〜

上右：岸他万喜、上左：若松 明治40年
中右：笠井彦乃、中右：夏姿 大正4年頃
下左：稲荷山 大正10年頃、下右：佐々木カ子ヨ



上右：島村抱月作詞、松井須磨子が歌った
「カチューシャの唄」大正9年
上左：恩地孝四郎・藤森静雄らと夢二
下右：有島生馬著『嘘の果』大正10年

